

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

2013年以来の出会い (悦)

16日も暑い予報なので、午前中に、野鳥の小径のサクラ大株立ちまでの往復として、季節による植生の違いを、ゆっくり観察することにしました。
今日のスタートは、四阿の砂地に沢山作られている蟻地獄の観察から始まりました。蟻地獄のすり鉢の底ではウスバカゲロウの仲間の幼虫が待ち構え、獲物が入るとサッと捕獲する様子が観察できました。また、アワブキの木に、アオバセセリの幼虫がいて、2013年以来の再会です。生き物たちは私たちが見えないところで、しっかり営みを続けていることを実感しました。



アリジゴク (su) 画像(悦)

餌捕獲時には文字通り眼にも留まらぬ素早さなのに、巣から出したら「どうしよう、死んじゃった」と申し訳なさでいっぱいになったほどの長時間の静止状態。外敵から身を守るためなのか、できる限りエネルギーを使わないで生きていくためなのか、見直しましたアリジゴク。



実りの秋 (悦)



コブシ

ツノハシバミ

アケビ

ミズキ

ウバユリ

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。
《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会
☎: 0266- 75-1772

WEB ガイドを拡張しました。

観察会で長年撮りためた写真を利用して、スマホでも利用できる WEB ガイドを拡張しました。

- ①植物ガイド
 - ②昆虫ガイド
 - ③植物・昆虫を観察しよう
- ①②は植物・昆虫の名前、観察月で検索できます。
③はガイドブック2の「観て楽しむ」の章を掲載しています。



森のご馳走！ (矢)



キノコのテーブルに森のご馳走！まるで古代の祭祀等儀式にも使われたと思われる高環型土器のようではありませんか！！
もしかして、古代人はこんなキノコを模して土器を作ったのかも？
高環型土器:弥生時代に普及した、脚部を持つ椀状の器

ホウノキの不思議



Sさんが示してくれたホウノキの葉。八枚の葉が枝先中央に規則正しく集まり、その中心に花が咲く。均等に日を浴びる戦略なのだろうか、45度等間隔で重なることなく円を描いている葉に、只々脱帽！

9月観察した虫たち (馬)

<昆虫>

- スジボソヤマキチョウ♂②110
 - ウラギンシジミ♂
 - ミドリヒョウモン♀②113
 - スミナガシ若齢幼虫②47
 - アオバセセリ中齢幼虫②60
 - 蟻地獄(ウスバカゲロウ幼虫)
 - シリアゲの仲間
 - キマフリ②124
 - エンマコオロギの仲間
 - ミンミンゼミ(鳴声)
 - ツクツクボウシ(鳴声)
 - タカネトンボ
 - ノシメトンボ②128
 - クスサン②119
- <その他>
- アズマヒキガエル
 - ヤマアカガエル

9月観察した花 (悦)

- ✿キンミズヒキ①101
- ✿クサノオウ①73
- ✿キバナアキギリ①105
- ✿カタバミ
- ✿ユウガギク①110
- ✿ゲンノショウコ①100
- ✿ハナタデ②96
- ✿ギンジョウソウモドキ
- ✿イヌタデ①103
- ✿ミヅソバ①104
- ✿ミズヒキ①103
- ✿ツリフネソウ①113
- ✿ヌスビトハギ①107
- ✿ノコンギク①110
- ✿ツククサ①97

9月観察した果実

- ミツバウツギ①74
- アブラチャン①66
- マタタビ②83
- ツノハシバミ①67
- アケビ②72
- オニグルミ②104
- グリ①123
- コナラ①121
- コブシ①68
- コバノガマズミ①76
- ミズキ①79

カエル2種 (桂)

今回は、カエルの写真が撮れてラッキーでした。初めにU字溝の中で2cm程の今年生まれたアズマヒキガエル、次に小川で6cm程に成長した2年目位のアズマヒキガエル。その後、1mもジャンプするヤマアカガエルです。それにしてもどこで卵を産んでいるのでしょうか？随分と下まで降りているのでしょうか？



黒いカエルの姿、特に肌の感じは南部鉄の鉄瓶に似ている！びっくりしました。毎日南部鉄の鉄瓶でお茶を飲んでます。(佐)

それと、初めてアオバセセリの幼虫を見ることが出来ました。見つけて下さった皆さんに感謝です。



ゲンノショウコ(現の証拠)の戦略 (洋)

ドクダミ・センブリと並ぶ、日本三大民間薬のひとつ。「すぐに効果が現れる証拠」という意味でつけられた名前とのこと。小学生の頃、夏休みの宿題で採取したことを思い出します。花は小さいながら、フウロソウを思わせ、魅力的です。その花の咲き方は雄性先熟とのこと。一般に虫媒花で多く見られる咲き方で、他家受粉の機会が大きくなり、種の存続に繋がるとのこと。賢い戦略です。 画像(悦)



カエルの卵 (悦)

4月頃に、池の裏の小さな沼でアズマヒキガエルの紐状の卵塊、ヤマアカガエルの大きな卵塊が観察できます。



アズマヒキガエル ヤマアカガエル

なかなか美しいアブラムシ紹介 (矢)

《ホウセンカコブアブラムシ》



ツリフネソウの虫こぶの中

《チカラシバキイロアブラムシ》



チカラシバの枯れっぱい葉の裏

若き探求心！ (黒)



おばさん二人が一生懸命に見ているのは、アリジゴク。なんとまあ、ほほえましい、というか、子供心を忘れない若き探究心！
●風にそよぐきれいな緑に、ふと見ると、やっぱりイネ科。これは、オオクサキビでしょうか？心がほっとくつろぎます。



●気が付くと、あたり一面秋の花たち。タデ科が今を盛りに咲いています。ミズヒキ、イヌタデ、ハナタデなど。ハナタデの小さな花をアップしてみました。小さくてもしっかり花。かわいいです。
●そして、山道でも白さが際立ち、人目を引くのがロウタケ。気持ち悪いけれど、白さがきれいです。



アワブキの葉はゆりかご (口)



アワブキ(花は6月下旬)



スミナガシ幼虫



ウストビイラガ幼虫



ハバチ幼虫？



イラガ科幼虫

アオバセセリ幼虫

9月のアワブキの葉っぱにこんなにも住人がいるとは
○スミナガシの幼虫はこれから蛹越冬の準備
○アオバセセリの幼虫、月例観察会参加9年目にして初観察
・頭部にある6つ黒い●点、頭頂の点だけがハート形に見えるのだが今回は確認ならず。
・終齢になると昼間は葉内で休み、夜間は他の葉を食べに出かける。(虫のしわざ観察ガイドより)
・地上に落下させた葉の中で蛹越冬となる。(虫のしわざ観察ガイドより)
○ウストビイラガの幼虫なんとも独特なホルムです。
残暑が厳しい中、植物・昆虫たちは来春に向かって着実に準備を始めています。